

# ちびっこひろばだより4月号

令和4年4月1日(金)発行

社会福祉法人愛護会 金ケ崎町子育て支援センター  
 金ケ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700

Eメール [kosodatesien@aigokai.jp](mailto:kosodatesien@aigokai.jp)

4月、新しいスタートの季節ですね。ぽかぽかあたたかい陽気に誘われて、お花がこれからゆっくりゆっくり咲き始めますよ。虫たちも遊びにやってきますよ。そして、沢山のお友達の進級・入園・入学、本当におめでとうございます。支援センターでも、沢山のお友達の来所を、スタッフみんなで楽しみに待っております。コロナウイルス感染防止の対策により、施設利用について沢山のご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。今年度も子どもさんと楽しいあそびの時間を過ごしていただければと思っています。みんなで元気に遊びましょう。

## 《4月の行事とお知らせ》

月	火	水	木	金	土
4	4月から、幼稚園、保育園に入園、小学校に入学されるお友だち。 「 <b>ご入園・ご入学</b> <b>おめでとうございます。</b> 」			1	2
8	チュールリップ広場 開催日(午前のみ) となります。対象のお友達以外の <b>利用はできません。</b>			8	9
11	12	14	15	16	
永岡サークル 「ながままサークル」		午前 チュールリップひろば	とことこ <small>(主に1歳児対象の遊びの日です)</small>	ぱぱぱ	
18	19	21	22	23	
南方サークル 「はあと♥ママ」			ぴよんぴよん <small>(主に2歳児対象の遊びの日です)</small>	ぱぱぱ	
25	27	28	29	30	
チュールリップ広場 開催日となります。対象のお友達以外の <b>利用はできません。</b>	午前 チュールリップひろば 午後 チュールリップひろば		昭和の日 閉所	ぱぱぱ	

### ＜4月の主な行事＞(10時30分頃～11時30分頃まで)

- ☆ 4月 8日(金) ぴよぴよ(主に0歳児対象)  
保健指導員相談日
- ☆ 4月15日(金) とことこ(主に1歳児対象)
- ☆ 4月22日(金) ぴよんぴよん(主に2歳児対象)
- ☆ 4月23日(土) パパデイ(お父さんと一緒に遊びましょう)

金ケ崎町子育て支援センターは  
 ☆ 月～土曜日まで(祝祭日は除く)  
 10時～16時まで無料開放しています。  
 ☆ 子育てについてのメール・電話相談を受け付けております。  
 お気軽に、ご利用ください。

### 金ケ崎町子育て支援センターの利用について

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・来所時の健康確認、検温をお願いします。
- ・お弁当の持ち込みは、お休みとなっています。  
ご協力をお願いします。

センター利用につきましては、金ケ崎町の対応により、利用の制限がある場合があります。**金ケ崎町のホームページ・支援センターブログ等をご確認の上、ご利用ください。**  
 また、支援センターの行事等の開催状況については、毎月発行の「ちびっこひろばだより」や支援センターブログ等でお知らせしますので、ご確認ください。

月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

## (4歳ころ) 「～ダケレドモ、…スル」という気持ち・いたわる気持ち

### ○「～ダケレドモ、…スル」という気持ち～自制心の育ち

自分と相手の気持ちの両方が分かり始め、自分の気持ちを通そうとする思いと、時には思い通りにならないという不満やつらさとの間で、葛藤する時期です。

大人に共感されたり、励まされたりすることを繰り返しながら、徐々に「わかっていてもできない」という気持ちに打ち勝ち、自制心が形成されていきます。

### ●葛藤をくぐる意味

自分の思いが通らなくても、そこで「どうすればよいのか？」を考え、判断し、自ら抑制する力を育てたい時期です。それには、自己コントロールができずにパニックになったり、泣いたり怒ったりしながら自分と向き合うことが必要です。

激しい感情を吐き出すことにより、ある程度自分の気持ちを立て直すことができ、「～ダケレドモ、…スル」という気持ちにつながっていきます。

### ●大人の支えが心のバネに

子どもが思い通りにならない事態にぶつかり、混乱している時は、大人は余裕をもって子どもと向き合しましょう。まずは、「〇〇できなくてくやしいね」等と子どもの気持ちを受け止めて、「泣きたいときは泣いてもいいんだよ」「自分の気持ちを話せてえらかったね」等と寄り添うことが大切です。

自分のありのままを十分受け止めてもらう経験を積み重ねた子どもは、これから様々な葛藤に出会ったとしても、自分を支えてくれる大人の存在を心のバネにして、乗り越える力を身につけていきます。



### ○いたわる気持ち

感情が豊かになり、身近な人の気持ちを察して、少しずつ自分の気持ちを抑えたり、我慢したりができるようになってきます。また、人をじっくり観察するようになり、特に年下の子ども(赤ちゃん)に興味を持ち始める時期です。

### ●大人のように振る舞いたいという気持ち

この時期、おうちごっこが盛んに行われ、「着替えましょうね」「寝ましょうね」等と言いながら、人形を赤ちゃんに見立てておんぶしたり、寝かしつけたり、食事をさせたり、という姿が見られるようになります。大人が赤ちゃんの世話をする様子をじっくり見ていると、自分も大人のように振る舞いたい、という気持ちが生まれてきています。そして実際の赤ちゃんにも関心を持ち始めます。「〇〇ちゃん優しいね」「赤ちゃんもうれしくおもっているよ、ありがとうね」等と寄り添うことを大事にし、このような経験の繰り返しが人をいたわる気持ちにつながっていきます。